

## DIG(災害図上訓練)

人数	時間	場所	用意するもの
5人～	60分～	屋内(講堂、集会場など)	消防署で準備

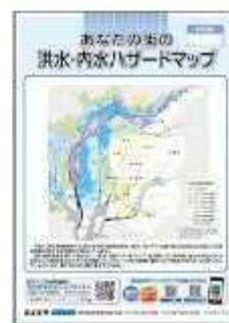
○地域で大災害が発生した場合の被害状況を地図に書き込み、災害に対する地域の課題や対策を考えます。

### 【訓練スケジュール(例)】

- ① 導入(概要説明、自己紹介等)
- ② 地域の情報を地図へ書き込む
- ③ 災害想定を発表
- ④ 発災時の被害状況を地図に書き込む
- ⑤ 地域の課題に対する対応策の検討
- ⑥ 検討結果をまとめる
- ⑦ 成果発表
- ⑧ まとめ

### 【実施要領】

- ① グループ分け、自己紹介(アイスブレイク)、役割分担(進行役、書記、発表役)  
⇒楽しみながら活発に意見交換ができる雰囲気作り
- ② 自分たちが住む地域の自然条件(河川、土砂、用水路等)、地域の構造(公園、広場、主要道路、狭隘道路)、防災拠点(官公庁、学校、医療機関等)、危険箇所(ブロック塀、石垣、看板等)、その他役立つ情報(地域防災協力事業所、AED等)を地図に書き込む(色を塗る、シールをはる)
- ③ 地震、風水害等の災害想定を伝える  
⇒【地震】南海トラフ地震が発生し、市域内で最大震度7発生 など・・・  
【風水害】台風の接近に伴う集中豪雨で河川が氾濫、土砂災害が発生 など・・・
- ④ ハザードマップ等を参考に、火災延焼、家屋倒壊、道路閉塞、土砂災害、液状化等の被害状況を地図に書き込む
- ⑤ 地図を元に、地域の課題・対策等をグループで検討
- ⑥ 検討結果の取りまとめ
- ⑦ グループごとに発表
- ⑧ 主催者(消防署)による総括



### 【訓練イメージ】

